







# タツノ「TATSUNO Lab」竣工 横浜に最新鋭分析施設



11月15日より業務を開始した「TATSUNO Lab」の外観



最新の分析機器類

「TATSUNO Lab」は、タツノの鶴見事業所の1階のほぼ全域を占め、3階には本ラボを管理する環境事業部のほか、プラントエンジニアリング部、品質安全管理部の3つの部署、2階には東京支店が入っている。本ラボには、①無機前処理室、②有機前処理室、③有機前処理室、④有機機器室、⑤VOC前処理室、⑥VOC

機器室、⑦事務室、⑧土壌風乾室、⑨拡張実験室が配置されている。現在タツノが携わるSSの土壌浄化・修復につながる土壌調査・分析は、大気分析、作業環境測定などについても積極的に取り組んでいる。また、土壌環境事業への理解を深め、さらなる目的で、取引先向けにラボ内の見学コースを設定。土壌汚染関連のヒテオ視察、タッチパネルを使用した土壌調査等の解説、さらには現時点では未整備の拡張実験室を分析に活用した様々な体験を行う「コーナード」も用意されている。

タツノの環境事業の分析業務を担う「TATSUNO Lab」が、横浜市鶴見区市場西町に竣工し、11月15日より業務を開始した。このラボには、ベンゼンなどのVOCを測定するガスクロマトグラフ質量分析計(GC-MS)、鉄・鉛などの重金属類を測定するICP質量分析計(ICP-MS)、油分析専用のガスクロマトグラフ(GC-FID)など最新の機器類が数多く設置され、土壌汚染対策法・水質汚濁防止法の排水基準(有害物質)分析項目すべてに対応できる能力を有している。こうしたことから今後は、SSの分析も行うこと、工場跡地などの土壌調査をはじめ幅広い利用が見込まれている。

「ノート eパワー」にエコピア採用 ■プリヂストーン■  
プリヂストーンは、日産自動車「ノート eパワー」の新車装着用タイヤに、材料技術「ナノプロテック」を適用したゴムを採用した「エコピアEP150」が採用されたと発表した。安全性能や操縦性能を維持しながら、転がり抵抗の低減を追求したタイヤで、車両の性能向上に貢献するとしている。  
採用されたタイヤのサイズは185/70R14・88Sと185/65R15・88H。  
日産「セレナ」に1S専用鉛蓄電池 ■GSユアサ■  
GSユアサは、同社のアイドリングストップ専用鉛蓄電池が日産自動車の新型「セレナ」に採用されたと発表した。「S-HYBRID(スマートシンプルハイブリッド)」システムの性能向上を目的に搭載するもので、回生エネルギーを効率的に回収することで、採用されたのは、アイドリングストップ専用バッテリーの最新モデル「S-95」と「K-42」。  
デジタル会員登録が100万枚突破 ■JAF■  
日本自動車連盟(JAF、矢代隆義会長)は、JAF会員登録をスマートフォンに表示することができるよう「JAFデジタル会員登録」の登録数が100万を突破したと発表した。2014年11月にリリースした同アプリは、JAF会員登録がなくてもスマホの画面を見ただけでサービスを受けられる。同会員登録では、外出先でロードサービスを依頼する際にGPS機能を使って位置情報を送信できる。

### 冬タイヤ7カ月ぶり前年超

GfKジャパン(東)は、10月タイヤ販売速報を発表した。冬タイヤの販売拡大により、販売本数は前年同月比1.1%増、販売金額は同2.0%増で7ヵ月ぶりに前年実績を上回った。中でも軽自動車やコンパクトカー向けの販売が好調で前年を約3割上回ったという。また旧モデルのタイヤが販売を伸ばしているという、前年より様々な走行シチュエー

ともあり、冬タイヤの販売本数の構成比は北海道で97%、東北地方で80%で高水準となった。また全国的には48%にとどまっており、北日本を中心に平年月の動きに注目が集まっている。

### 30周年で式典

岡山タイヤ株式会社は、岡山県岡山市に本社を置く岡山タイヤ株式会社が、創業30周年を記念して、1986年に開設した岡山タイヤテストコース(岡山県美作市)の30周年記念式典を開催した。式典には、美作市の尾崎功三経済部長や地域住民など約300人が出席した。

### 「ネプロス」新製品を投入

KTC 京都機械工具(KIT)は、先月のネプロスブランドの新製品「ネプロス ロングコン」(インチサイズ)の14アイテムを発売した(写真)。

### 対総決起大会を開催し、「国民・自動車ユーザーの負担軽減」に訴えた

●全石連・流通網再構築実証事業を採択  
<25日>全石連の石油製品流通網再構築実証事業審査委員会は21日、秋田県仙北市の中央商會(菊地典子社長・JX系)が申請した『過疎・豪雪地帯における地域拠点としてのSS整備と高齢者世帯への灯油備蓄支援・配送合理化および除雪事業』を採択した。

### 市場

●J本田千葉SS・12月末閉鎖へ  
<2日>ジョイフル本田の千葉SS(千葉市稲毛区)が12月31日で閉鎖することが明らかとなった。店舗の大型化に伴う閉鎖とみられる。長く千葉市内のプライスリーダーとして君臨してきた同社SSの閉鎖に対して、周辺の地場業者からは、過当競争の沈静化を期待する声が上がっている。

### 政策

●北海道・灯油意見交換会を開催  
<7日>消費者と供給者、行政などが今冬の灯油事情について情報交換を行う「北海道地域灯油意見交換会」が2日、札幌で開かれた。2シーズン続けての安値水準となっている今冬灯油に対する消費者の不安は少ないものの、OPEC原油減産合意の影響を懸念する声もあった。

### 環境

●ホンダ・FCVで住宅へ電力供給  
<11日>ホンダは新型の燃料電池車「クラリティ フューエルセル」から住宅に電力を供給する北九州市との共同実験を開始した。モデル住宅「エコハウス」に可搬型外部給電器も導入し、量産モデルで実験を開始した。

### 元売

●出光・高度化2次告示対応完了へ  
<7日>出光興産は1日、来年3月末に期限を迎えるエネルギー供給構造高度化法の第2次告示への対応を発表した。トッパ一処理能力について、昨年3月に先行実施した千葉製油所の日量2万バレルの削減を含め、14年3月末時点対比で3製油所合計で5.5万バレルの公称能力削減に対応する。

### カーライフ

●トヨタ・17年初からFCVバス販売  
<9日>トヨタはこのほど、燃料電池バスを2017年初めから「トヨタブランド」で販売することを明らかにした。同社は20年東京オリンピック・パラリンピックに向け、都内を中心に100台以上のFCVバス導入を予定する。

### 組織

●「満タン」&「プラス1缶」推進委員会発足  
<2日>全石連経営部会(浜田忠博部会長)は10月27日の会合で、同部会から提案した「満タン」&「プラス1缶」運動について、理事会承認を経て推進委員会が発足したことを報告。広報部会(宇佐美三郎部会長)と連携し、さらに石油連盟などとも歩調を合わせ業界運動として展開する方針を確認した。

### 組

●奈良「新車販売サポート事業」に着手  
<7日>奈良石商・協(松本安司理事長)は2日、奈良県橿原市で理事会を開き、新たに「新車販売サポート事業」をスタートすることを決めた。スズキのカーディーラーと提携し、SSで同社の新車をユーザーに紹介するもの。SSはユーザーニーズをスズキに提供し、成約時の販売手数料が油外収益となる。

### 月間ぜんせき

11月  
※>は掲載日

## ご不要になった計量機、弊社へお売りください。

ガソリンスタンドの廃業や、計量機の入替えて不要になった計量機は、是非日本スタンドサービスにお売りください。計量機の他にも、ミニローリーヤ、コンプレッサー等周辺機器も高価買取いたします。無料でお見積りいたしますので、まずはお気軽にお電話ください。

ECO

## 古い計量機の部品で、お困りの方、ご一報ください。

日本スタンドサービスでは、計量機の中古部品を取り扱っております。古い計量機の部品が手に入らずお困りの際は、部品の不足で計量機を買い替える前に、是非一度弊社へご相談ください。お客様のお悩みを解決できるよう尽力いたします。

ECO

日本スタンドサービスは、計量機や部品のエコリユース活動によりお客様の給油所運営に貢献いたします。

日本スタンドサービス株式会社  
当社は、計量機検定/修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。

◆ホームページ <http://www.nssk.co.jp/>  
◆楽天市場店 <http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/>

◆自社計量機販売 ◆給油機器販売 ◆計量機検定 ◆計量機修理  
◆中古計量機買取・販売 ◆中古部品販売 ◆地下タンク漏えい検査  
◆移動タンク漏えい検査 ◆高精度油面計 ◆電気防食システム工事  
◆給油所新設工事 ◆給油所廃止工事 他 お気軽にご相談ください。

無料お見積り・お問い合わせは  
0120-016-889